

2学期の始まりにあたって

校長 杉 森 伸 吉

今年の夏は、災害レベルと言われるほどの、尋常ではない酷暑でしたが、夏休みは、国内外でそれぞれ親子での素晴らしい体験をされたことと思います。菊の子の皆さんから、夏休みの思い出などについて、話を聞くのを楽しみにしています。

7月後半には、新築された富浦寮で、5年男子、6年女子、5年女子、6年男子の順に、3泊4日ずつ遠泳に取り組み、それぞれ素晴らしい成長体験ができました。非常に暑い中で、予想外に早くクラゲが出たりもしましたが、事故もなく、安全に、そしてどのお子さんたちも、非常に立派に頑張りました。5年男子、6年女子、5年女子のがんばりやチームワークも、素晴らしかったです。また最後のグループの6年男子では、台風の影響で、2日目は海に行けませんでしたが、短歌を作ったり、新しくできた多目的ホールで1時間半ほど卓球で体を動かしたりと、とても前向きに過ごすことができました。6年男子は、この2日目のハンディをたくましく乗り越え、最終日の4日目には、全員が1匹の大きな魚となって、大遠泳を泳ぎ切ることができました。大遠泳、中遠泳、小遠泳、沿岸泳と、どの泳ぎであっても、一人一人がチームワークを育みながら、ひたむきに泳ぐ姿や、そこに至るプロセスでの努力は、高学年のメイン行事であるにふさわしい感動と成長をもたらしてくれました。

新しい寮での料理も、たいへん素晴らしく、子どもたち、先生やボランティアの皆さんも、毎回の食事を楽しみにしながら、心豊かに過ごすことができました。

新任の先生方も、無事に大遠泳などを泳ぎ切りました。水泳部の先生を中心として、全教員と卒業生の大学生スタッフたちが、一致団結して、毎日遅くまで準備する情熱も、素晴らしかったです。さすがに、80年という伝統を誇る行事だけあり、教え方や安全管理等のノウハウの豊かな蓄積にしっかりと裏打ちされていたと思います。

2学期には、80周年記念行事や運動会、ゆり組の富士山移動教室などもありますし、菊の子の皆さんは、それぞれに学習や仲間づくりを含めた心技体の成長にいそしめるよう、学校をあげて、最善の努力を払っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、手前味噌で恐縮ですが、2学期の期間中には、私の関係する教育関係の公開シンポジウムなどもいくつかありますので、ご関心をお持ちの方は、ご参加くだされば幸いです。より詳細は別紙をご覧ください。

(1) シンポジウム「いじめと向き合う」(東京弁護士会多摩支部主催) 10月27日

(2) 公開シンポジウム「本物の自尊心を育むために」(日本教育心理学会主催) 12月2日

(3) 文科省委託事業「親子の絆を深める生活体験」(公益社団法人青少年交友協会主催)

9月22-24日(4年生以上)

2学期も、ご家庭と学校が協力していけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

